

特別講演 2

「内科医にやってほしい在宅褥瘡ケア」

高岡駅南クリニック 院長

塚田 邦夫 先生

褥瘡は寝たきりの方などにできるかなり痛い外傷です。人は皆死ぬ運命にあり、寝たきりになることから、我々全て褥瘡の高危険者です。褥瘡は自分の問題なのです。

在宅医療は、ほぼ内科医が担っています。そこで、内科医にやってほしい在宅褥瘡ケアについてお話しいたします。

褥瘡のできる原因は、「持続的な圧迫」ですが、その他「ずれ」や「低栄養」が大きく関与します。圧迫に関しては体圧分散寝具（エアーマットレス、ウレタンマットレス）を選択しますが、ずれについては安楽な姿勢が重要です。また必要な栄養を摂ると、褥瘡は治り、予防にもなります。このような知識と技術を広く浅く知ることは、全身を診る内科医にとり難しいことではありません。そして傷の処置は訪問看護師のアドバイスを受け容れ、体圧分散寝具等の選定は訪問看護師あるいは福祉用具専門相談員に依頼します。安楽な姿勢は理学療法士や作業療法士、栄養は管理栄養士を活用します。

これらの専門職に指示を出すことで、ひどい褥瘡も目に見えてよくなります。やがて早期に褥瘡を発見できるようになり、ついには予防的介入が可能になります。そして患者本人・家族と喜びを共有できます。是非在宅褥瘡ケアを始めてください。